

本よりもとごせし事ことなれば、日本国のほろびんを助ケンがために、三度みたびいさめに御用おんもちなくば、山林さんりんにまじわるべきよし存ぜしゆへに、同おなじき五月十二日に鎌倉をいでぬ。但シ本国にいたりて今一度ひとたび、父母のはかをもみんとをもへども、にしきをきて故郷こきやうへはかへれという事は内外ないげのをきてなり。させる面目めんもくもなくして本国へいたりなば、不幸の者にてやあらんずらん。これほどのかた（難）かりし事だにもやぶれて、かまくらへかへり入身いしんなれば、又にしきをきるへんもやあらんずらん。其時そのとき、父母のはかをもみよかすと、ふかくをもうゆへにいまに生国しよこくへはいたらねども、さすがこひしくて、吹風ク、立たくもまでも、東のかたと申せば、庵いほりをいでて身にふれ、庭ちに立てみるなり。